

埼玉県学力・学習状況調査に係る効果的な取組事例（小学校・国語）

吉川市立美南小学校

1 本校の概要

(1) 埼玉県学力・学習状況調査の結果等

学年	伸びた層			本事例で取り上げた観点				左記以外に取り上げた主な取組
	上位層	中位層	下位層	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	
5		○	○		○	○		習熟度の低い言語事項についての調査実施と教員への意識付け

※ 「伸びた層」は、一番伸びた層に『○』。各層において同じ伸びの場合は、複数の層に『○』。

(2) 伸びた結果と要因、背景

本校の平成28年度小5国語は全ての観点で県平均を上回った。児童の学力は平均して3段階伸びている。これは、校内での研修を通して学力向上に向けた取組を学校全体で進めたことによるものであると考える。日頃の教育活動を通して、主体的な学びの機会の増加、書く活動の充実や読書活動の励行などを全校で積み重ねた成果と考えている。

2 具体的な取組

(1) 教育委員会との連携による取組

① 市教委主催の「吉川市教育課程検討委員会」の実施

【参会者】市教委指導主事及び市内小中学校の教務主任

【概要】市内小中学校の教育課題を解決するために各校の実践をもちより発表する。

② 課題の大きい領域における再調査の実施

市内小学校で習熟度の低い言語事項「主語・述語・修飾語」について再調査を実施した。児童の習熟度を上げるとともに、教師への意識付けを図った。

正答率比較	H27	H28
【主語】	14.8	43.6
【修飾語】	3.7	50.0
【被修飾語】	(3.7)	78.2

(2) 本校独自の取組

【主体的な学びの機会の増加】に向けて

「家庭学習のすすめ」の作成

東部教育事務所 HP を参考に、本校の実態に合わせて作成。



学習掲示物「学びのまど」の作成

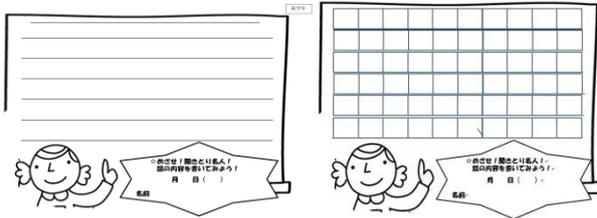
児童の課題や時節に応じた内容を取り入れた学習掲示物を毎月作成。



【書く活動の充実】に向けて

「朝会」を利用した書く活動の実施

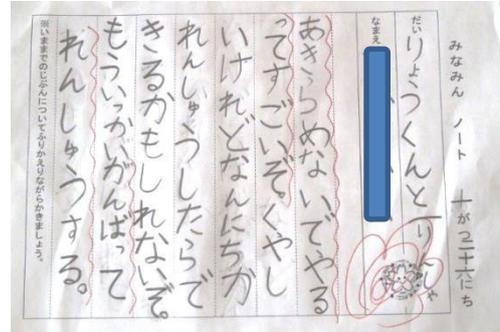
原稿化された校長講話を活用し、要点を聞きとる力や書く力の向上を図る。



※「箇条書きで書こう」「〇字以内で書こう」など条件付け児童の学力に応じた指導

「書く活動」の継続的な実施

自己の振り返りを適切に行うとともに、自分の思いを書く経験を増やす。



「型」を意識した書く活動の実施

型に基づいた指導を行うことで、書く力の向上を図る。

【指導の要点】

- ・型に合わせて書けるようにする。
- ⇒「接続語を使う」「擬音語を使う」「修飾語を使う」などの条件付け



【読書活動の励行】に向けて

毎朝10分間の朝読書

継続して行うことで読書習慣の定着が図られている。



図書主任を核とした読書活動の実施

読書まつりの実施や、PTA 読み聞かせの実施に向けた連携、図書館サポートティーチャーの活用、市図書館との連携など、児童に興味関心を持たせる読書活動が実施されている。



3 成果と課題

(1) 児童の変容した（伸びた）姿について

① 教員の見取りから

「子供が落ち着いて授業に参加している。」「発表する児童が増えた。」

② 最も伸びた児童の様子から

毎日日記を書くことを経て、書く力の向上や伝えたい内容の伝え方、字のきれいさ、漢字の習熟など多方面に好影響が出ている。

(2) 分析結果を受け、これからの実践に向けての課題

① 下位層ほど伸びが少ないことが課題である。主体的な学びを進めるなかで、中学校へのスムーズな接続を視野に入れながらどの段階の児童にも確実な学力の定着を目指す。

② 「書く能力」の観点が低いため、書く活動を増やし慣れさせていく。その上で、児童の能力に応じて、条件を付けるなど個に応じた指導を行っていく。